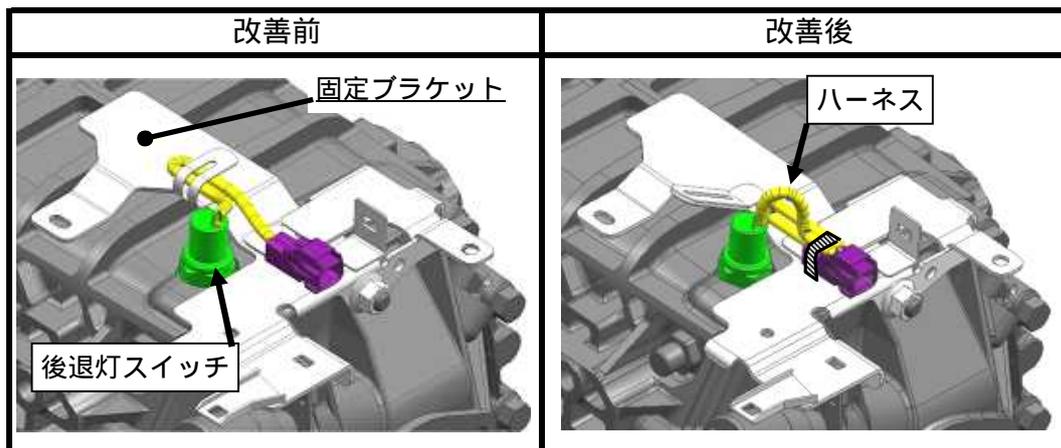


改善箇所説明図



小型トラックの手動変速機において、変速機がバックギヤに入っていることを検知する後退灯スイッチのハーネスの配索が不適切なため、ハーネスの固定ブラケットの振動によりハーネスが折れ曲がり、被覆が損傷することがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、ハーネスが断線し、バックギヤに入っているにもかかわらず、後退灯が点灯しなくなるおそれがある。

改善の内容：
全車両、後退灯スイッチのハーネスを点検し、損傷している場合は後退灯スイッチを新品に交換するとともに、配索を変更する。また、ハーネスが損傷していなかったものは、配索を変更する。

識別：後退灯スイッチ近傍のフレームに識別ペイント（白色）を塗布する。

注：□ は、措置する部品を示す。